

「製造分野におけるDX推進」

開催日：令和8年6月12日（金）

申込期限：令和8年5月22日（金）

実施会場：ポリテクセンター宮崎

1 | カリキュラム内容

推奨対象者：中堅層、管理者層

ねらい：生産現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視・制御にICTやIoTなどのデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革（DX）を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法を理解する。

基本項目	主な内容
1 製造業におけるDXの理解	(1) スマートファクトリの基礎と展望 ・仕組み・メリット・将来性を解説。 【演習】スマート工場化の導入案 (2) スマートプロダクト・スマートサービスの革新性 ・ビジネスモデル変革と顧客満足度向上を解説。 【演習】スマート化考案 (3) DX時代を加速させるデータと生成AI活用 ・データ活用と生成AIの試し方をデモを見せながら解説。 【演習】アナログ業務洗い出しとデータ活用検討演習
2 DX実現事例	(1) スマートファクトリの実現事例 ・成功事例から生産性向上の仕組みを学ぶ。 【演習】導入事例の成功要因考察 (2) データを軸とした製造業の在り方 ・データドリブンによる競争優位性と具体事例を紹介。 【演習】データ活用アクションプラン
3 DX推進の目標設定と解決策	(1) DX戦略立案のための現状分析と事例分析 ・自社の状況を整理するための分析手法を習得。 (2) DXによる課題解決へのアプローチ ・テクノロジーを使った課題解決のステップを考察。 【演習】DXアプローチ検討
4 DX推進の計画と実行	(1) データに基づく生産活動の改善戦略 ・データで課題を特定し、解決策を立案する方法を解説。 【演習】自社の製造プロセス見える化とデータ活用

2 | 講師紹介

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

仲村 健太 / 合同会社ヤオヨロズテック



自動車メーカーにてITシステム開発、福祉事業立て直し、BMを経て2016年に独立。AIなど先端技術の開発・導入支援を行い、リーダー層向けDX人材育成研修の実績も多数。直近では、生成AI活用支援、みなさんが利用している生成AIサービス特化型のオンラインミニ講習も実施。

カリキュラム作成のポイント・ひとこと

「うちにはできない」が「うちでもできそう！」に変わる研修。IT知識ゼロでもOK。難しい用語は使いません。自社の状況や課題を洗い出すワークからスタートするので、一般論ではなく“自分ごと”としてDXを理解でき、実際のツール画面を見ながら進めるので、IT知識に自信がない方でも安心して受講することができます。